



特許特集

特開2013-007122

絹繊維品のブリーツ加工及びブリーツ加工品

絹織物本来の柔らかさを損なうことなく、高いブリーツ性が得られるブリーツ加工法を開発しました。付加価値の高い絹織物の製品化が期待できます。

絹織物にも適するブリーツ加工法を求めて

ブリーツ加工とは、生地へひだ(折り目、ブリーツ)をつける加工のことで、スカート、ブラウス等の製品に多く使われています。ブリーツ加工が可能な繊維素材としては、ポリエステル等の合成繊維や毛繊維があります。

絹繊維は、優れた風合いや光沢等の優れた性能をもつことから人気のある繊維素材です。絹織物への従来のブリーツ加工は、湿熱処理、樹脂加工、はっ水加工を利用してきました。

ところが、湿熱処理とはっ水加工を行うとブリーツ性が低下することや、樹脂加工では織物が硬くなってしまうなどの問題がありました。絹織物本来の柔らかさを維持したまま、高いブリーツ性を得ることができるブリーツ加工法の開発が望まれていました。



図1 ブリーツ加工した製品例

加工剤に膨潤剤を採用

本技術では、絹繊維に膨潤剤を用いてブリーツ加工することで、絹織物本来の柔らかさを維持したまま、高いブリーツ性を得ることが可能になりました。

膨潤剤とは、絹繊維を膨潤させることのできる薬剤です。この膨潤剤を付与した絹織物に対し、ブリーツを折り込み、蒸気を当てて形状をセットします。

表1 ブリーツ加工した絹織物のブリーツ性と柔らかさ

		ブリーツ性(級)	柔らかさ(N)
開発品	尿素	4.6	0.2
	エチレングリコール	3.9	0.2
	ジメチルスルホキシド	3.4	0.2
従来品	湿熱処理	1.1	0.2
	はっ水加工	2.1	0.2
	樹脂加工	5	0.9
未加工品		-	0.2

ブリーツ性:5級から1級で評価され、5級が最も優れる
柔らかさ:剛軟性試験を実施、値が低いほど柔らかい

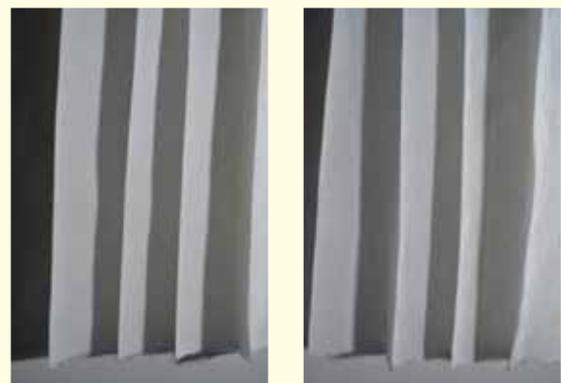


図2 尿素を用いてブリーツ加工した絹織物
左:洗濯前 右:水洗濯3回後

なお本技術は、現在、株式会社杉本ブリーツ様にて製品化を進めていただいています。都産技研でも、従来では難しかったブリーツ性の高い絹繊維品を皆さまにご利用いただけるよう、さらなる研究を進めます。

研究担当:繊維・化学グループ <多摩テクノプラザ>

武田 浩司

※お問い合わせは開発企画室(P.2)まで